会報
日本勤労者山岳連盟（富山県連盟）
新日本スポーツ連盟

# 三島野スポーツクラブ

No. 153
2013年6月1日
代表　岩井　富雄
射水市宝町 1364-35
TEL・FAX 57-8180

槍ヶ岳　　小木　清 画

## ６月の企画案内

6／9 天蓋山

6／16 登山セミナー

**7月の企画**　夏山シーズンの幕開け

○07/15～16　浅間山・籠ノ登山

○07/28～30　常念山脈縦走

## 8月以降の企画決定！

山行報告

▲安曇野散策＆光城山・長峰山

▲北ア・爺ヶ岳～鹿島槍ヶ岳

▲富士写ヶ岳　▲タケノコ掘り　▲春の立山

**エベレスト登頂の話題　二題**

好評連載

山の○×話　高橋洋一

**自転車 考**　荒井英治

# 6月の企画案内

全国の労山加盟のクラブが
いっせいに行動します。

## 6／2(日) クリーンハイク 大辻山

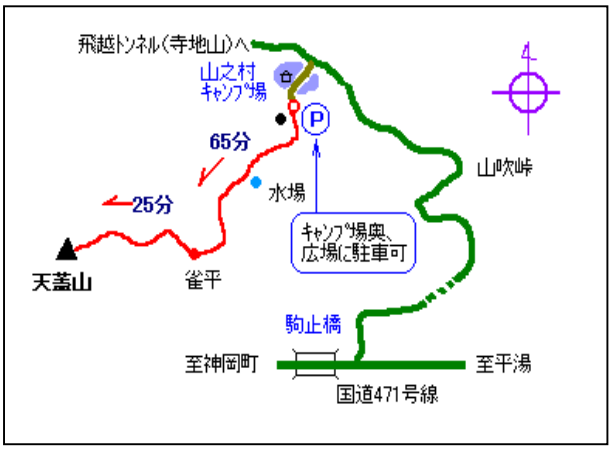
1,361m

【集合・出発】7 時 00 分　薬勝寺Ｐ
【行　程】長尾峠から長尾山を経て大辻山へ　　Ｌ：荒井英治
登り 2 時間　下り 1 時間 30 分　　標高差　540m　体力度・技術度★☆☆☆☆
【参加締切】**5 月 26 日に締め切りました。**
【装　備】通常の無雪期の装備（ハイキング ABC 参照）　♨で汗を流して帰路につきます。

## 6／9(日) 天蓋山

てんがいざん
1,527.3m　岐阜県飛騨市/高山市

北アルプスの眺望広がる飛騨・山之村の名峰
登山口周辺は山菜が豊富。下山後に、採取した山菜を
天ぷらなどにして楽しみます




【集合・出発】5 時 00 分　薬勝寺Ｐ
【行　程】山の村キャンプ場の登山口から山頂まで往復
標高差 約 600m
体力度★★☆☆☆　技術度★☆☆☆☆
【参加締切】6 月 2 日まで FAX 57-8180 岩井へ
【装　備】通常の無雪期の装備。温泉入浴します。
【費　用】2,000 円（交通費、♨、雑費等）

## 6／16(日) 三島野スポーツクラブ 登山セミナー

◇6 月 16 日（日）午前 9 時から午後 3 時
◇立山自然青少年の家

会員こぞって
の参加を！

プログラム：午前は相談役の山田　格さんと元代表で世話人の黒川　衛さんを講師に「安全登山」と「登山を楽しむために」のお話を聞きます。昼食後、近くの来拝山に登りながら読図の学習。尚、昼食は「立山自然青少年の家」の食堂で注文しますので準備は不要です。

昼食後に 2013 年の三島野スポーツクラブの山行企画の写真をプロジェクターで見ながら“ワイワイガヤガヤ”します。

【集合出発】7 時 30 分薬勝寺Ｐ
【参加申込】6 月 9 日まで FAX 57-8180 岩井へ
【準備するもの】コンパス、ものさし、テキスト「ハイキング ABC」
テキスト「セカンドステップ」。通常の装備
【参加費】1,500 円

## 「登山セミナー」の参加を呼びかけます（再録）

代表　岩井富雄

会員の皆さんこんにちは。皆さんは夏の登山シーズンに向けて、プランをいろいろ考えておられることと思います。『クラブの企画ではどれに参加できるか』『こんなコース・山のプランができないだろうか』と。

三島野ＳＣの総会後、新しく６名の山愛好者が加入されました。いままでの会員も含めて登山・山歩きの知識、経験、体力などは同じではありません。それを前提にしてクラブは運営しているつもりですが、少しでもそれらの向上を得られたならば新たな峰に立つこともでき、危険を回避することもできると思います。

今年はこれまで２月から４月まで７回の企画を実施しました。これまで「雪のある時期の山」として敬遠することが多かったと思いますが、それぞれの条件の中で完結してきました。より多くの会員の参加を望んでいます。

さて上記の企画は、本格的登山シーズンを前に「安全登山」でよりに豊かに自然とふれあい、感動・感激を共有できるための「準備運動」みたいものです。準備なしに本番に突入してはケガのもとです。

「疲れない歩き方」「道迷いをしないための地図の見方（読図）」「山に潜む危険の予知」などを繰り返し学び、練習する機会です。自称ベテランも自称ビギナーもこぞって　参加してくださることを切望しています

## ７月企画案内

## いよいよ　夏山シーズン幕開け

### 7/15(祝)～16(火)　籠ノ登山(2,227m)＆浅間山(2,524m)＆高峰高原トレッキング

宿泊の都合で日程が変更となりました。

上信越国立公園の 2000mの高原は初夏。なだらかな稜線と高山植物が今が盛りと花開く。そんな自然の中に身を置きこころやすらぐ…　ぜいたくな時を味わう！

1 日目

籠ノ登山（約 2 時間）と池の平湿原散策（約 2 時間）

2 日目　　（A・B コース）を選択します

**Ａコース**　浅間山（前掛山）　登り 5 時間 45 分　下り 3 時間 30 分（朝食前 5 時出発）
技術度★★☆☆☆　体力度★★★★☆

**Ｂコース**　黒斑山（浅間山の展望）登り 1 時間 45 分　下り 1 時間　（車坂峠で休憩）
高峰山登り 1 時間　下り 45 分　（朝食後 9 時出発）
技術度★★☆☆☆　体力度★★☆☆☆

【費　用】参加人数によって変動しますが 15,000 円～20,000 円

宿泊は高峰高原ホテル（2000mの高原のホテル）を予定

**参加申込は 7 月 2 日まで FAX 57-8180 岩井へ（ホテル予約のため厳守）**

火山避難小屋

東籠ノ登山　後景は黒斑山

池の平湿原

# 7/28(日)～30(火)

## 北アルプスの大展望と高山植物を愛でる 常念山脈縦走の山旅

# 燕岳～大天井岳～常念岳

2,763m　　2,922m　　2,857m

燕岳

大天井岳

常念岳

コマクサ

【集合・出発】5 時 00 分　薬勝寺 P
【行　程】
1 日目　中房登山口→合戦小屋→ 燕岳→燕山荘(泊)
　登り 1,300m　行動時間 5 時間 30 分
2 日目　燕山荘→大天井岳→ 東天井岳→ 横通岳→ 常念小屋
　登り 250m　下り 450m　行動時間 7 時間
3 日目　常念小屋→常念岳→常念小屋 →　一ノ沢登山口
　登り 400m　下り 1,550m　行動時間　6 時間
　　大町温泉で入浴後帰路へ
　技術度★★☆☆☆　体力度★★★☆☆
【参加申込】　7 月 21 日まで　岩井　FAX57-8180 へ
【費　用】約 25,000 円　（幕営チームは別途）
【装　備】無雪期の標準装備。2 日目と 3 日目の昼食は小屋で準備できますがオプションとします。

※ 詳細な実施内容については次号でお知らせします。

# 8月以降の企画案内

8 月から 11 月までの企画について、年初のアンケートを参考にして世話人会で検討した結果、下記の企画を決定しました。

| | 日　程 | コース | 体力度 | 技術度 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 8 月 | 8 日(木)～9 日(金) | 大日岳縦走 | ★★☆☆☆ | ★★☆☆☆ | 女性会員の企画 |
| | 18 日(日)～19 日(月) | 薬師岳 | ★★★☆☆ | ★★☆☆☆ | 幕営と小屋泊を選択 |
| 9 月 | 14 日(土)～16 日(月･祝) | 槍ヶ岳 | ★★★☆☆ | ★★★☆☆ | 槍沢から東鎌尾根へ |
| | 22 日(日) | 南木曽岳 | ★★☆☆☆ | ★★★☆☆ | 木曽路の急峻な山 |
| 10 月 | 10 日(木)～11 日(金) | 涸沢 | ★★☆☆☆ | ★★★☆☆ | 紅葉の涸沢と穂高 |
| | 27 日(日) | 医王山 | ★★☆☆☆ | ★★☆☆☆ | 秋の里山 |
| 11 月 | 3 日(日) | 荒島岳 | ★★★☆☆ | ★★☆☆☆ | 福井の名山 |

※ 詳細な内容の案内は、事前に会報でお知らせします。また、自主企画を歓迎しますが、事前に代表（岩井）へ届け、会員への周知を行います。

# 山行報告 4/27～28

## 安曇野の春を満喫する旅

# 安曇野散策と光城山・長峰山

912m　933m

メンバー　（L）堀井泰則、岩井富雄、岩越理代、上田千秋、加藤日出子、甲かほる、小坪哲彦、橘茂樹、長谷部節子、的場邦夫。　岩井紀代美、片野清美（会員外）

【行　程】

4/27　出発 6：00 → 白馬駅 8：20 →（雪が舞ってくる）大町山岳博物館 8：55～10：00 → 安曇野ちひろ美術館 10：20～11：30 → 民宿「ごほーでん」にて豪華版ランチ（蕎麦湯が美味）～13：00→ 安曇野散策帰着 17：00

4/28　宿出発 7：50 → 光城山登山口出発 8：20 → 光城山山頂 9：10 → 天平の森 10：40→ 長峰山山頂 10：40～10：55（大展望に見惚れる）→下山口長峰荘 11：40 → 季節料理「七彩（にじ）」（安くて美味しい山菜たっぷりの料理）12：00～13：00→ 帰路へ　薬勝寺 P 16：35

左・山岳博物館

右・道祖神

ちひろ美術館

上・東光寺の大下駄

## ひとくち感想

**堀　井**：桜の開花が例年より早く、葉桜が多かったのが唯一の“残念”。宿・食事・コースがよかった。北アルプスの展望は言葉に尽くせないほど。有明山の存在感が印象に残った。

**甲　か**：夏に登る予定の常念岳を中心に、北アルプスのパノラマが私たちを迎えてくれました。天気に感謝！食事も宿もコースもとても気に入りました。元気をいっぱいもらいました。

**的　場**：初日は車中で雪に見舞われました。でも歩き始める頃には好転したが寒かった。2 日目は素晴らしい天気で常念岳などの展望がよかった。とくに、光城山、長峰山からの展望はすばらしい。感謝！

**岩　越**：寒かったけど、景色はすばらしかった！お料理も美味しかったし、宿のお風呂も大きくて身体がポカポカあたたまりました。“来てよかった”

**小坪哲**：好天に恵まれ、常念だけの勇姿に感動しました。

**橘**　：天候に恵まれ、正面に大きく見える有明山から常念岳の迫力が素晴らしかった。『安曇野なら…では』の楽しみを経験させてもらった。

**加　藤**：久々の登山。お天気も恵まれ、桜も見られて最高！でした。

**長谷部**：天候・民宿・食事すべて良し！楽しい山行でした。（L）の準備に感心しました。

**岩井富**：出発時の天候にチョット心配しましたが、2 日目は天気良く楽しい山行になりました。

**岩井紀**：出発するときは曇・雨で散策するのが心配でしたが、徐々に回復し、穂高神社・大王ワサビ園など楽しい思い出が残りました。2 日目の光城山は足が痛くバテ気味でしたが、久しぶりにいい汗をかきました。ありがとうございました。

**片　野**：北アルプスの山々が最高でした。天候にも恵まれ、早朝散歩も楽しむことができました。
参加させていただきありがとうございます。

長峰山へ　桜の遊歩道

光城山山頂にて　後景に北アルプス

# 安曇野の自然と文化に酔いしれた旅でした

上田　千秋

1日目。雨雲といっしょに車は一路信州へ向かいます。白馬山麓にさしかかった頃からみぞれが雪に変わり、まだ咲いている桜と雪のコントラストを眺めながら大町市立山岳博物館に到着。登山の歴史や自然、山の動物の剥製を見学しながら3階の展望室へ。『桜ごしに雪を抱く北アルプス』のパノラマが見えるはずだったが…すっぽり雲におおわれている。明日に期待しよう。

次に向かったのは、前々から訪れたかった「安曇野ちひろ美術館」。小さい頃から雑誌や絵本で親しんだ絵。とても優しい気持ちになりました。広大な敷地にたたずむ復元したアトリエと周囲の景色に、また感動！

そして、昼食は宿泊先の「予約ランチ」。民宿『ごほーでん』の“10名様以上のみの団体限定定食・ごほーでん定食”1,260円なり。とても美味しく、びっくりするほどの量と品数。「お値段以上」とはこのことか！みんなしっかりと完食。

午後からは天気が回復し、地図を片手に安曇野散策のスタート。山々に囲まれたのどかな風景がなんとも美しく、道端の道祖神を見つけ足を止めます。穂高神社に参拝し。大きな下駄のある東光寺では真っ暗な戒壇の幸福の鍵に触れご利益を祈りました。歴史ある庄屋（陣屋）の等々力邸で立派な庭園と門かぶりの赤松に見入りました。そして、観光客でいっぱいの大王ワサビ園へ。かほるさんの万歩計によると、ここまでな・な・なんと20,500歩だとか。あるいたなぁ～！

2日目。晴天。早く目覚めて、朝食まで周辺を散歩。空気がおいしく爽やか。

地元でも人気の光城山登山口から頂上へと続く桜のトンネルは、今年は開花が早かったらしくもう葉桜で、ちょっと残念。でも頂上に近づくにつれ残っている桜花が出迎えてくれました。それにもまして、雲ひとつない青空に雪を抱く北アルプス・後立山連峰がドーン！と（Lの言葉を拝借）眼に、心に迫ります。五龍岳・鹿島槍ヶ岳・爺ヶ岳・蓮華岳。手前に有明山。その奥に燕岳・大天井岳・横通岳・常念岳・蝶ヶ岳の大パノラマ。“あぁ―どの山にも登ったことがな～い”いつかきっと！と思いを馳せます。天平の森、長峰山の頂に立ち下山へ。先回りして下山口に車を回してくださった的場さんありがとうございます。
いつも山が手の届くところにあり、自然が豊かな美しい安曇野に住んでみたいと思いながら帰路へ。

とても楽しみにして参加した今回の企画。宿もコースも快適で、観光とトレッキングが楽しめてすごく得した気分の企画でした。〈L〉行き届いた手配と楽しい仲間たちありがとうございました。

桜と安曇野と北アルプス（長峰山より）

桜とワサビ田（大王ワサビ園にて）

山行報告

北ア・後立山連峰

# 5/2(木)~4(祝) 爺ヶ岳~鹿島槍ヶ岳

2,670m　　2,889m

〔メンバー：(L) 堀井泰則、小坪哲彦、的場邦夫〕

【行　程】

当初計画は 5／2・3 と予備日 5／4 の日程を計画していたが、2 日の天気予報と冷池山荘から『5/2 の入山者は非常に少なく、前日の積雪でトレースがわかりにくい。また登山口出発は遅くとも 6 時 30 分までに』のアドバイスを受け以下の日程にしました。

**■ 1 日目 5/2**　雨のち曇

13：00 薬勝寺 P 出発　　16：30 宿泊地 安曇野市有明“キッチン＆やど「ぶたのしっぽ」”着

**■ 2 日目 5/3**　晴れ

4：00 起床 4：50 出発　　5：25 朝食「すき家」　　6：15 扇沢登山口　6：34 出発　　7：45 冬道への分岐
10：55 南尾根ｼﾞｬﾝｸｼｮﾝピーク　　12：00 昼食　　12：50 爺ヶ岳南峰　　15：00 冷池山荘

**■ 3 日目 5/4**　晴れ午後から小雪

4：50 冷池山荘　　6：10 布引山 2683m　　7：15 鹿島槍ヶ岳南峰　　8：00 布引山　　8：50 冷池山荘
出発 10：00　　11：50 爺ヶ岳中峰　　13：20 ｼﾞｬﾝｸｼｮﾝピーク　　15：30 柏原新道　　16：30 登山口

山荘前で背景は爺ヶ岳

北アの白い山並み（布引山より）

## 厳しさと感動の鹿島槍　　的場邦夫

今まで三島野 SC で「立山の雪上訓練」「3 月の西穂独標」「5 月 GW の唐松岳」の高山の雪山山行を経験したが、今回はこれら全てを併せたような山行になりました。気温が低く、風が強く、小雪も降り大変でしたが、〈L〉の判断で予備日を使い天気は晴れに恵まれました。辛くて、寒くて強風に飛ばされそうになりながらの鹿島槍ヶ岳へのアタックでしたが 3 人のチームワークで頂上に立てたときはうれしかった。強風と寒さで早々に山荘に戻り、鹿島槍ヶ岳を振り返って仰ぎ見た時嬉しさがこみ上げてきました。

## 達成感・充実感　　堀井泰則

これまでの燕岳、唐松岳のワンラックアップの北アルプス・春山として「爺ヶ岳・鹿島槍」を遂げて、今までにない達成感を得ることができました。3 度目のこのコースでしたが雪の多さ、気温の低さ、風の強さは一番。まさに冬山といっても過言ではありませんでした。春の明るい雪山の美しさも堪能しました。

## 爺ヶ岳・鹿島槍ヶ岳　　小坪哲彦

私にとって「山の魅力」は何といっても春山。その春山への挑戦のために“他のシーズンの山行は体力づくり”といっても過言ではないと言っても良いほど春山にハマリました。

今回は気心の知れた気楽な三人旅です。5/2 出発する時は雨模様（2000m級の山はきっと雪だろう）。前泊するキッチン＆やど“ぶたのしっぽ”は安曇野の別荘が立ち並ぶ一角にあるこじんまりとした洋風の民宿で、一泊夕食のみで 6,750 円。夕食はフランス料理でメーンデッシュはとろけるような分厚いステーキ。もちろん赤ワインのフルボトルをオーダー。（先週の「ごほーでん」もよかったがここも格別の感）先週、光城山・長峰山から遠く眺めた爺ヶ岳と鹿島槍ヶ岳が今回のメインステージ。

5/3 は晴れ。別荘地は冷え込み霜柱が立っている。温かい朝食は 24H 営業の「すき家」の牛丼。各地のナンバーが駐車し、登山者もいるだろうと想像する。予定より 20 分遅れて登山口に着いた。登山届けを受付で渡して出発（予備日は？と聞かれ、また、昨日上のほうではあたらしい積雪ありの情報を得た）。

樹林帯はほとんど雪を踏むルートになっていて、途中でアイゼンを履いた。新たに積もった 20～30cm 雪を踏んで黙々と歩を進めた。

爺ヶ岳への最後の登り

出発前にネットの検索で 4 月 28 日にアタックしたパーテェーが、ジャンクションピークの手前の急登で「雪の多さに撤退を余儀なくされた」の書き込みを思い出した。ジャンクションピークの看板があるわけではなく“ここだ”“ここだ”と自らに思い込ませ、地形図で確認しながら進んだ。12 時になって爺ヶ岳南峰への登りの手前で行動食をとった。爺ヶ岳南峰を登りきってあとは下り。予定より遅れること 1 時間 15：00 に冷池山荘に着いた。

GW の期間だけの小屋あけとあって、中はひんやりとして寒い。夕食前の談話室で的場さんが持ってきた労山名入りの三島野 SC の小旗が“スグレモノ”と好評で島根県の労山「松江アルペンクラブ」の一行と交流し、再会をと語り合った。今日の宿泊は 40～50 人ほど。

山荘での夕食

5/4 朝 4 時起床。次々と鹿島槍を目指してパーテェーが出発する中、われわれも 4：50 出発したが、朝焼けの強い冷気に身が引き締まる。布引山手前の登りで日の出を迎えた。「今日もいい天気で稜線歩き」の思いを馳せるが尾根に吹く風が突風となって体温を奪っていく。指先の感覚も鈍くなって慌てて手袋にホッカイロを入れたが、寒さが粘着をなくしてしまっていた。7：15 鹿島槍の頂に立ったが、強風と寒気で目出し帽から露出した鼻水も凍ってしまう。風で舞う雪粒が顔面を直撃。カメラを構えてもシャッターが押せない。昨年の西穂独標でも凍りついたシャッターを思い出した。頂上はあるはずの岩を雪が覆って雪原状となっている。早々に下山し、冷池山荘に戻った。暖まりながら朝昼を兼ねた食事はカップラーメンや中華風雑炊（ラーメンと冷や飯のごった煮）で一息入れた。

爺ヶ岳・中峰

下山開始。とはいっても初めは爺ヶ岳への 300mの登り。疲れと寒さでバテバテながら歩を進めることができたのは「雪上訓練（アイゼン装着の歩き方・ピッケルワークなど）」のおかげ。ペットボトルの水が凍っている。長い雪渓の下りに疲れた脚はピッチが落ちた。予定より 1 時間 30 分遅れて登山口に戻った。

今回 10 爪以上アイゼンは当然だが、ピッケルとストックの両方を持っていこうかと思ったが、ピッケルにしたのが正解だったようでした。急登でのアイスハンマー様につかって確保したり、滑落制動できる準備の安心感が大きかったと思いました。

翌日の「富士写ヶ岳」へは「タケノコ掘り」企画参加への体力温存のため棄権させてもらいました。終わりに、今回も『オレの葬式祭壇用』に活用できる熱き想いの一枚の写真を撮ることができ、楽しい貴重な山行を体験しました。ありがとう！

# 会報の表紙の絵の小木さん

## 水彩画展　５／２６日閉幕

### ―『高岡』町名も文化　旧町を歩く

展示会場で小木清さん

5/22 富山新聞
旧町名の町並み描く
高岡 小木清さんが水彩画展
作品に見入る来場者
―高岡市白金町のナカムラ印刷
富山新聞の紹介記事

三島野スポーツクラブの会報の表紙を飾り、会報の値打ちを高めている会員で水彩画家の小木清さんの個展が開催されました。

今回の個展のテーマは「高岡の旧町を歩く」で、今は使われなくなった歴史にちなんだ町の町並みを描いた作品２０点と風景画などが展示されていました。

いま、旧町名を残そうという声が起こっています。油町、塩倉町、船場町、鉄砲町等々高岡の町の歴史を物語る町名がなくなってしまいました。その歴史と文化を大切にしたい小木さんの思いの作品でした。

作品展示風景

# 山行報告　5／5(日)　富士写ヶ岳

941m
加賀市山中温泉

メンバー：〈L〉背渡健治、岩井富雄、的場邦夫、古川三郎、岩越理代、上田千秋、加藤日出子、甲かほる、竹内啓子、長谷部節子。長谷部志朗（会員外）

**行　程**

| | |
|---|---|
| 薬勝寺Ｐ出発 | 5：00 |
| 我谷登山口発 | 7：00 |
| 標高 730m | 9：00 |
| 頂上 | 9：30～45 |
| 前山 | 9：50 |
| （昼食） | ～10：40 |
| 登山口 | 12：30 |
| 山中温泉総湯　菊の湯 | |
| 森光子記念館 | 14：20 |
| 薬勝寺帰着 | 16：15 |

## ひとくち感想

**背　渡**：今年のシャクナゲは「裏年」とかで少なかった。総湯、森光子記念館などもよかったのでは？

**甲　か**：若葉のブナ林を歩きながらシャクナゲやタムシバをたくさん見つけました。転ばずに降りられてよかった。ありがとうございました。

**的　場**：シャクナゲ、ツバキ、ブナ林…とてもよかった。この５月５日の頃が最高です。リーダーに感謝。

**岩　越**：新しい靴で参加したので心配でしたが、登り下りとも大丈夫でした。山筋体操の効果が出たのでしょうか、ほどよい疲れで楽しめました。来年もこどもの日に Let‘s Go！！

**竹　内**：下山したあと、顔がザラザラ。汗の塩分だと聞きビックリ。新入生の初体験でした。楽しかった。

**古　川**：天気晴朗。風もなし。“シャクナゲが少なかったのがシャクノタネ！”

**上　田**：シャクナゲを求めてひたすら急登を登りました。少なかったけど咲いていてよかったです。

**長谷部節**：トレーニングに最高の天候。登山道もきれいでなによりでした。

**長谷部志**：天候に恵まれ、朝早くからの登山だったがシャクナゲなどが咲き、誠に意義深い登りになった。メンバーの皆さんも大変楽しい方ばかりで、忘れられない経験でした。

**加　藤**：きつい登山になると思っていたが、皆さんと楽しく登れてホッとしています。

**岩　井**：はじめての富士写ヶ岳でした。天気に恵まれ、明るい雰囲気で楽しい登山でした。シャクナゲの群落の山と紹介されているが、全山にツバキが自生していて「ツバキの山」と紹介されてもいいのでは？

## 富士写ヶ岳紀行

竹内啓子

５月５日５時。５の三重で出発。なにかいいことがありそうな。十一名が二台の車に分乗して登山口に到着。第一歩は我谷ダムの長い吊橋を渡ることから。

山はシャクナゲが群生していて美しいとのこと。緑いっぱいの中にユキツバキの赤色が美しい。ミツバツツジのピンク色がやさしく、ちょっと下を向いたチゴユリは可憐。清楚なタムシバ……かなり登ったはずなのにシャクナゲは姿をあらわさない。すれつがった下山中の地元の人に「今年のシャクナゲどうですか？」と訊ねると「ウーン、あまり良くない。」とちょっとつれない言葉が返ってきた。エエ―ッせっかく会いにきたのに！

一息入れて見回すと、ブナ林のなんと美しいこと。新緑の中に白い幹が林立している。登山道がその新緑に吸い込まれていくよう。

ついに、ついに薄桃色を発見！そこからはシャクナゲの桃色七変化です。硬く閉じた蕾は赤紫に近いピンク色。膨らんでくると濃いピンク、花開くとピンク。そして、時間の経過とともに淡いピンクへ。

頂上到着は１０時３０分。記念撮影後、近くの前山に移動して昼食タイム。ギフチョウもひらひら飛んでくるし、沸かしてくださったコーヒーのなんとおいしかったことか。

最高の一日でした。

# 5/6(月・祝)

参加者：林　憲彦、甲かほる、小坪哲彦、堀川克子、岩井富雄、堀カツコ、寺山秀行、川端友嘉、熊木龍巳、熊木廣子、岩越理代、加藤日出子、山田　格、野開律子
（丁場和子、林恵美子ほか会員の家族など　大人 21 人・子供 9 人　計 30 人）

タケノコ掘り風景と獲物の山

今年はタケノコの“ウラ年”とかであちこちの産地では収穫が少なかったようです。が、私たちが訪れた竹林にはまだザックザックと掘れるタケノコがありました。ここは“ウラのウラ年”だったようです。

「あー失敗！」「よっしゃー！」など鍬の入れ方で丸ごと採れたり、途中で切れてしまったりで歓声が竹林をこだましていました。そして採りたてのタケノコや持ち寄った山菜の天ぷらや山菜料理、タケノコご飯でにぎやかな宴となりました。

お世話していただいたノビちゃんとご家族に感謝です。

## いい思い出をつくことができた一日でした

M・I

子どもの参加もOK！ということで、息子と二人で初めて参加しました。朝のウォークに参加できなかったので直接会場へ。準備を手伝いながら皆さんを待ちました。

全員集合したところでタケノコ掘り専用の鍬の使い方を教えていただき、いざ竹林へGO！まずプロの掘り方を見せていただきました。その時は私も息子も“わりと簡単に掘れるもんだ”と勘違いしたのでした。ところが、いざやってみると……。タケノコに向きを見て「よし、こっち向き。あれれ、いやあっち向きや」とへっぴり腰で手ごわい地下茎をかき分けながらタケノコに傷をつけずに掘るのは難しかったです。ですから、苦労の末に一本無事に掘るとニコッと思わず笑顔になりました。息子といい思い出ができました。

さて、この企画には掘った後にもお楽しみがありました。わざわざ準備してくださったタケノコご飯のおにぎりや煮物。そして、小型のガステーブルを並べて山菜の天ぷらやかき揚げ、また、焼そばも。皆さんで堪能しました。特に、天ぷらの係りの特権？で「フーフー、アッチチチ」とついついつまみ食いした揚げたてのコゴミやタラノメ。それはそれは美味でした。

それから山行の思い出話も聞かせていただき、羨ましいかぎりでした。お天気に恵まれ、ほどよく手も疲れ、お腹もこころも大満足になりました。ありがとうございました。

## 富士写ヶ岳登山をおえて

背渡健治

登山靴・雨具・ザックは山登りのための『三種の神器』といわれています。ザックは自分の体に合ったものを選びましょう。体への負担具合が軽減されます。雨具は風雨から身を守るものですが、通気性のあるものを選ぶことです。登山靴は岩場や急な下りなどの条件の悪いところを歩くためにつくられています。「あの程度の山なら…」とスニーカーでいくと爪先に負担がかかり痛めたり、疲れが倍増します。

今回の富士写ヶ岳は登山路はしっかりしていますが、急な登り下りで標高差約 700mあり、もし、ぬかるんでいたら…ということを考え、しっかりした本格的登山靴が必要でしたが、「軽い靴」で参加された人がおられたように思いました。ちょっと気になりましたので老婆心ながらリーダーのつぶやきとして――。

# 5/17(金) 春の立山

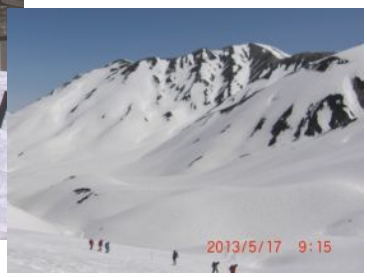
メンバー：岩井富雄、小坪哲彦、的場邦夫、長谷部節子

【行　程】

| | |
|---|---|
| 薬勝寺Ｐ出発 | 5：50 |
| 立山駅着 | 6：42 |
| 発 | 7：20 |
| 美女平発 | 7：40 |
| 室堂着 | 8：30 |
| 一の越 | 10：10 |
| 雄山山頂 | 11：40 |
| （昼食） | 13：20 |
| 室堂着 | 14：20 |
| 立山駅 | 15：47 |
| 薬勝寺Ｐ | 17：30 |

上・一の越から室堂、大日岳

下・室堂からの立山




## ひとくち感想

**岩　井**：おだやかな良い天気の恵まれた楽しい登山でした。室堂周辺は昨年より残雪が多いと聞いていましたが、一の越より上部は雪が少なく、アイゼンなしで登れたのには驚きました。韓国、台湾の観光客の多いのにビックリ。特に帰りのバスの中は日本語の会話がなく、まるで台湾に言ったような錯覚を覚えるくらいでした。そんな中に日本語のわかる人がいて話もでき良い経験をした。そんなグループと立山駅で手を振って別れた。

**長谷部**：とても素晴らしい晴天に恵まれ、立山をはじめ雪を抱いた山々が美しく映え、大満足でした。

**古　川**：昨年の荒天とうって変わり、雲ひとつない快晴の登山日和。久しぶりの峰本社参拝。下界は雲海に包まれているが、富士山、槍ヶ岳などが遠望。360 度展開の山容に大満足でした。

**小　坪**：まず弘法から上は雲海を抜け、超快晴であったことが最高のご馳走でした。バッチリ今日も日焼け。最高の驚きはわがパーテェーのＦとＨ両先輩のタフなこと（登り下りとも〈L〉ともども舌を巻きました。この先輩達は超人か？）。今回もまた“敬服”の連続の山行でした。一の越から頂上まで「雄山ってこんなキツイ登りの山だったっけ？？と疑うくらい夏場と違ってキツイ岩とガレ場でした。驚きは頂上を目指す2～3 割はスキーかスノーボードを担いで登る若者達『頂上から滑り降りるんです』という。また、登山者の 80%は台湾の人、15%は韓国から、残りの 5%が日本人ということでした。みなさ～ん、春山ってホントに好いですヨ！

## 登山路を行く小旗 三島野 SC に声がかかります

**その一**　光城山の頂上で若い男女三人組みの登山者が『「ニホンキンロウシャサンガクレンメイ」ですか。たくさんの人と楽しく登っておられますねぇ』と。労山の名前と存在を知ってもらえます。

**その二**　鹿島槍の冷池山荘で島根の労山加盟の松江アルペンクラブのパーテェーと交流。「その旗いいですねぇ」と。**（右の写真）**

**その三**　富士写ヶ岳ですれちがったパーテェー。「あっ！労山ですか。私たちも労山です。」その後が残念！「静岡県からですか？」と。三島野が三島市と間違えられたのでした。

後日、世話人会で「富山県連盟」を付け加えなければ…となりました。

# 山の○×話　三度目の正直？ ⑧

## 落としたナイフ（サイフではありません）

高橋洋一

★ 一昨年、昨年の春と不養生が祟ってか山菜採りで風邪をこじらせ肺炎。他の疾患も併発、2 年連続の入院正確の憂き目に遭ったのですが、喉もと過ぎれば何とやら…死ぬほどの思いをしたのも忘れ、今年もまた山に来てしまいました。しかし目的地に通じる林道は 2 キロほど手前で通行止めになっており、おまけにガスで肌寒く「戻ろうか」とも思いましたが、“空戻りはなかろう”と歩くこと約 1 時間、目印の送電塔から暫しヤブをこぎいつもの谷間に到着。斜面を降りれば程よく延びた薇が出ていましたが、「何かおかしいぞ？」近寄って見れば褐色に茹ったようになっており、ウドも黒く萎れていました。どうやら季節はずれの霜害で全滅状態でした。来た向きの斜面は霜をのがれたものもあり、どうにかリュック一杯分の収穫はありました。早々に帰って始末しなければと身支度したところ、腰につけた皮鞘のナイフが「ない！」。たしか 100m程手前の藪で足に絡んだつるを切ったはず？足跡をなぞれば見つかるだろうと、2 度 3 度と行き来したのですが見つからず。また時間も迫ったので「後日に…」とその日は戻りました。

★ 作業場に戻り始末をしていたところからだが以上に寒い。確かに今日は寒い日でぬかるんだ谷間で体も濡らし冷えたのか？しかも何か尋常でない感覚に体温計を銜（くわ）えてみれば 39 度近くも…。「なぜ？風邪の気配もなかったのに…」悪寒もするので熱い風呂にでも入ればと早々に帰宅。今度は眩暈（めまい）が、もはや歯の根もあわない悪寒で食事も摂れず解熱剤を入れてベッドに入りました。「まさか 3 年連続の入院になるのでは？明日病院に行こう…」と寝たのですが、妙にナイフのことが気になり寝付かれませんでした。

★ 翌朝、起きて体温を測れば熱は下がっており、医者についた頃には不思議？なことにほぼ平熱でした。診察の結果、特に以上はなく「単なる風邪でしょう」との事で一安心しましたが、あの只事でない高熱はいったい何だったのでしょう。落としたナイフの祟（たた）りか？とくだらないことを思ったり…。

★ 「よし必ず探し出す！」と 3 日後の 5 月 1 日現地に向かいました。朝から怪しい空模様でしたが案の定、着いたとたん雨となり断念。さらに 4 日後の 5 月 5 日、好天を見計らい 3 度目の挑戦？「今度こそ絶対！」と草木を分け、這うように探したのですがやはり見つかりません。残念ながら諦めるかと…見渡せば数メートル脇の小枝に革紐が「あれは！」たしか手外れ防止のためナイフの柄に巻いた革紐。なんと枝に絡み付いていたのです。入り組んだ潅木藪を潜り抜ける時、輪状にした紐が折れた枝にひっかり抜けたのでしょう。私は地表に落としたと思い込み足跡を這いずり回っていたのですが、僅かコースを誤り、目に入らなかったのです。まさかこんな事があるとは、でも「よかった！」と思わず声に出していました。

★ たかがナイフかもしれませんが、その昔、祖父が漆掻きの山刀鉈としていたものを父親が塗氏刀として受け継ぎ、のち、私がサバイバルナイフ状に改造し 30 年近く“海に山に”愛用した由緒ある？お宝なのです。

★ とにかく「二度あることは三度ある」は何とか免れ、「三度目の正直」となって不幸中の幸いでした。

次回へ

# 自転車 考

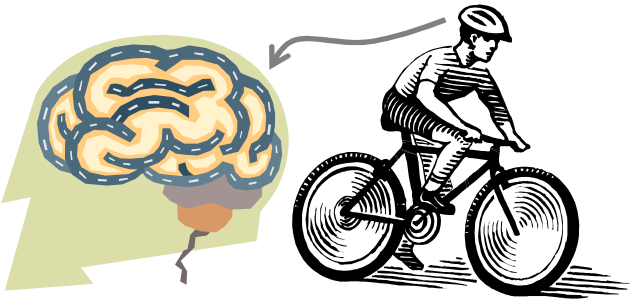
## その 7 の 1

### ―タイムトラベル―

荒井英治

「トンネルを抜けるとそこは雪国だった。・・・」は作家川端康成の小説『雪国』の始まりの文章です。私らの年代の人であれば誰でも、教科書か、国語の試験の例文ででもお目にかかっているでしょうが、小説を読み通した人はあまりいないのでは。　私も読んだことはありません。上手いイントロで、地理的空間と読者の意識空間をこの一文で一瞬のうちに異次元世界（虚構の世界）へ落とし込んでいく力を持っているようです。

話は飛びますが、朝、目が覚めて最初に意識に上ることは何ですか？今日の仕事のこと、今朝の朝食の献立のこと、昨晩の配偶者との喧嘩の苦い思いでしょうか、それとも目覚め直前に見ていた甘い夢の余韻でしょうか。近頃、ちょっと気づいたことがあるのです。早朝の里山散歩と早朝サイクリングでは脳内世界で立ち上がって来るものに少し違いがあるのではと。どちらも周りに人っ子一人居ない、自分だけの世界に身を置いているのですが、自転車を走らせている時は１つの想念は余り長くは続かず、深まることもあまりなく、飛躍も無いようです。これがユックリとした歩きだと一つの想念が様々に展開や飛躍を生み出し、まるで交響曲のソナタ形式がひとつの主題（テーマ）を次々に膨らませていって豊穣な音の世界を構築していくその過程に少し似ているようです。その違いの原因は、簡単至極、自転車は単位時間あたりに進む距離が歩行に比べて格段に長いため、用水への転落や田圃への脱輪などのリスクも当然高くなるので、脳が自動的に安全管理のための制御を効かせていることにあるのでしょう。一つの主題で想念を余り長く保たせないようにしているから、展開や飛躍もなく深みも出てこないのだと思います。ならばゆっくりとペダルを漕げばいいかというと、自転車はある程度スピードを保っていないとハンドルがふらついてこれはまた転落・脱輪の危険性が高くなります。結局「自転車に乗る時は適度な速さで、あまり考えごとをしないで、前方をしっかり見て走りましょう。」ということになるのです。開き直って言えば、頭の中を空っぽにさせてくれることが自転車の最大のご利益なのです。（蛇足ですが、ランニングをやっている時と早足で歩いている時とゆっくりと歩いている時とでは脳内世界の立ち上がりの具合に違いはあるのでしょうか。ちょっと面白い課題だと思いませんか。）それなら、自転車は余り物事を考えない人に相性の良い趣味かと言えばそうかもしれないし、逆に日ごろものごとを深く考えすぎる人の気分転換に最高の趣味だとも言えそうです。



次号へ続く

---

会員の中に、こんなスポーツを楽しみ、登山のための体力づくりに努力されています

# 八〇歳・最高齢登頂　三浦さん

七〇歳と七五歳の登頂に続き、三度目チャレンジを遂げた三浦雄一郎さんの「エベレスト登頂」は新聞やテレビで大きく報道されました。心臓病を克服し、この目的達成のために生活を律し、筋力をつけるための努力などは素晴らしいと思います。

「挑戦することが生きる勇気、やる気を沸き立たせる。結果としてアンチエージングになる」と。

また、このプロジェクトを支えた経済力、スタッフなど無しには成しえなかったことも事実だろうと思います。

# もうひとつのエベレスト登頂

エベレスト登頂

列車事故で片足を切断したインド女性が、切断手術を受けた女性として初めて登頂に成功しました。支援したインド企業が5月22日に発表しました。元インドのバレーボール選手22歳女性で「同情の目で見られないために、何かを成し遂げなければならないことに気付いた」と取材に応えての弁。

二年前、列車強盗におそわれた列車に乗り合わせていて、突き落とされて左足の膝から下を切断してしまったとのことでした。

コレも快挙ですね。

## 三島野スポーツクラブ運営役員

| 任務分担 | 氏　　名 | 住　　所 | TEL |
|---|---|---|---|
| 代　表 | 岩井　富雄 | 射水市宝町 1364-35 | 57-8180 |
| 副代表 | 小坪　哲彦 | 射水市中太閤山 5-59 | 56-3028 |
| 副代表 | 背渡　健治 | 高岡市五福町 11-45 | 23-2446 |
| 会計担当 | 荒井　英治 | 射水市上野 465 | 56-3058 |
| 会報担当 | 堀井　泰則 | 高岡市石瀬 748-6 | 25-2792 |

〔世話人会〕
黒川　　衛　賀久　博幸、
甲　　厚子　的場　邦夫、
寺山　秀行　野開　律子、
林　　憲彦
と左記の方々で構成しています。
〔相談役〕　山田　格

**世話人会**は原則毎月の第一・第三月曜日に開催いていますが６月は**３日(月)・17 日(月)**です。ご出席をおねがいします。また、会員はどなたでも自由に出席でき「登りたい山」「運営について」などの要望を言うことができます。気軽に遊びに来てください。

**尚、開会時間は７時 00 分～8 時 30 分です。**

## 編集後記

- G・W に企画が集中しました。立山を含め、その内容が豊かでした。冬山みたいな春の北アルプス。春が満載の富士写ヶ岳。そして、自分で掘った旬のタケノコ・山菜を食したグルメ企画。いずれの報告もその楽しさや山の厳しさなどが伝わってきました。
- ８月以降の企画がラインナップしました。今から予定を！
- 会報に記載する記事の内容を検討している時に「三浦雄一郎 80 歳エレベスト登頂」のニュースが紙面やテレビを賑わしていました。そのことに触れた紙面を参考にして載せました。
- クラブの小旗をいつも背にして参加されている的場さんのおかげで「三島野スポーツクラブ」「労山」がアピールされ、労山仲間の連帯が生まれたエピソードはうれしいですね。

会報についてのご意見などお寄せください。山の出来事の面白い話も。
　堀井まで　E メールアドレス ho-748-6@p1.tcnet.ne.jp へ　FAX 25-2792
三島野スポーツクラブのホームページの IRL
　http://sportstoyama.namaste.jp/misimano/misimano.html　です